

東海第二発電所 火災防護対象ケーブルの難燃化に対する適合性確認検査の
実施時期及び検査対応について

東海第二発電所の新規制基準適合性に係る審査において、主要な論点となった非難燃ケーブルの難燃化への対応について、ケーブル敷設形態に応じた難燃化対応及び検査時期について整理した。

1. 非難燃ケーブルの難燃化対応

東海第二発電所における非難燃ケーブルの新規制対応に伴う難燃化への対応については、ケーブルの敷設形態（電線管、ケーブルトレイ、コンクリートピット）に対応した方法で実施する。

原則、非難燃ケーブルは難燃ケーブルに取替を行うが、取替に伴い安全上の課題が生じる場合には、難燃ケーブルと同等以上の難燃性能を確保できる代替措置（ケーブルトレイへの複合体施工、電線管のシール処理等）を施す。（詳細については、表1を参照。）



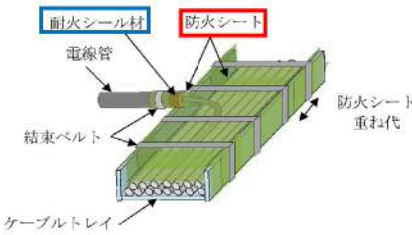


2. 適合性確認検査の実施時期

東海第二発電所における非難燃ケーブルの敷設形態に応じた適合性確認検査の実施時期については以下の通り。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ①全域電線管敷設ケーブル取替 | : 2021年4月開始の工事に合わせて適宜実施 |
| ②ケーブルトレイ内ケーブル取替 | : 2021年中旬開始の工事に合わせて適宜実施 |
| ③コンクリートピット内ケーブル取替 | : 2022年上旬開始の工事に合わせて適宜実施 |
| ④電線管内敷設済み難燃ケーブル | : 2022年上旬に適宜実施 |
| ⑤ケーブルトレイ（複合体） | : 2022年上旬開始の工事に合わせて適宜実施 |
| ⑥電線管（シール処理） | : 2022年上旬開始の工事に合わせて適宜実施 |

以上

表1 東海第二発電所非難燃ケーブル敷設状況毎の新規制対応施工方法分類表

敷設形態	ケーブルの状態 ○：非難燃 ×：難燃	施工方法	概要図	検査項目
電線管	×	すでに難燃ケーブルの為、施工なし	—	・据付検査 ・外観検査
	○	取替	<p>全域電線管敷設の非難燃ケーブルを、難燃ケーブルへ取替</p> 	
	○	シール	 	
ケーブルトレイ	○	複合体	<p>複合体施工に当たっては、トレイ上のケーブルの整線等を実施</p>  <p>※ 難燃ケーブルが含まれる場合もある。</p>	
	○	取替	<p>非難燃高圧電力ケーブルは、難燃高圧電力ケーブルへ取替（一部、電線管部分の取替含む）</p> 	
コンクリートビット (ケーブルビット)	○	取替	